

歳出

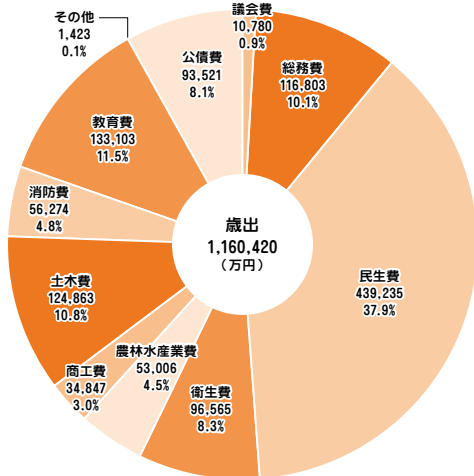
歳出全般に、物価高騰の影響を受けて各公共施設の光熱水費が増加しています。

目的別に見ると、民生費の割合が最も高くなりました。臨時特別給付金事業や障がい者自立支援給付事業などの社会保障経費が年々増加傾向となっています。

教育費については、いちご一会とちぎ国体を開催しました。

衛生費は、クリーンパーク茂原の火災による施設修繕費用の増加や霊園の新規整備などにより、前年度よりも構成割合が増えました。

新型コロナ及び物価高騰対策としては、農業者や中小企業者、保育所・学童クラブ等に対して支援金交付事業を実施しました。また、前年度に引き続き、プレミアム商品券事業や水道料金の減免も行いました。



主な事務事業

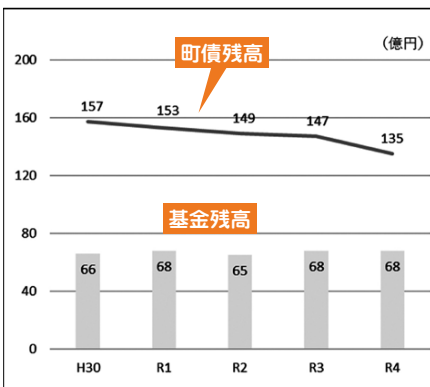
いちご一会とちぎ国体事業	7,596万円	民間保育所整備助成事業	5,242万円
障がい者自立支援給付事業	6億7,898万円	クリーンパーク茂原等運営事業	1億6,730万円
生涯学習・子育て支援複合施設整備事業	4,135万円	道路整備事業	1億8,403万円

〈新型コロナウイルス感染症対策〉

新型コロナウイルスワクチン接種事業	1億5,618万円	プレミアム商品券事業	3,621万円
住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給事業	1億3,997万円	原油価格・物価高騰対策農業者支援事業	1,584万円

町債の残高

町債とは、建設事業などの財源として、国や金融機関から借り入れるものです。一般会計、特別会計、企業会計を合わせた町全体の令和4年度末残高は、135億1,456万円となりました。令和4年度の借入額を元金の返済額が上回るため、残高は減少しました。



基金の残高

基金とは、様々な目的のために積み立てているものです。一般会計と特別会計を合わせた町全体の令和4年度末残高は、68億4,662万円となりました。事業の財源に充てるため、新型コロナウイルス感染症対応基金や義務教育施設整備基金などを取り崩しました。

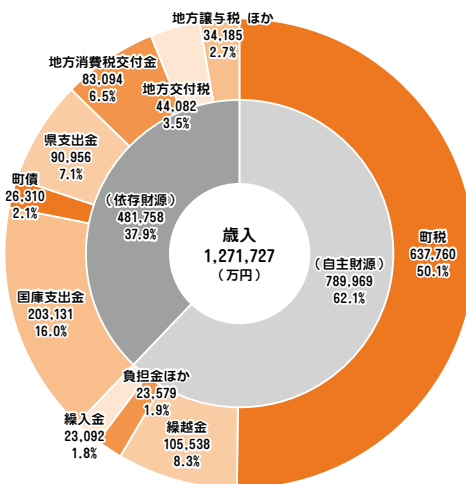
▶問い合わせ先=企画課 財政係 ☎9119

令和4年度 決算の報告

令和4年度(令和4年4月~令和5年3月)の決算がまとまり、9月議会において認定されましたので、その概要についてお知らせします。決算の詳細や公営企業会計の決算は、町ホームページをご覧ください。

一般会計の決算額は、歳入127億1,727万4,082円(前年度比△4.6%)、歳出116億419万6,334円(前年度比△5.5%)となり、差引額11億1,307万7,748円は令和5年度へ繰り越します。

歳入



町税収入は、令和3年度と比較して、5億9,031万円の増となりました。町税のうち固定資産税は4億5,033万円の増収となりました。

国庫支出金の主な内容は、新型コロナウイルス感染症対策に係るワクチン接種事業や地方創生臨時交付金、子育て世帯・非課税世帯等への臨時特別給付金事業などです。

県支出金は、いちご一会とちぎ国体事業などにより5,475万円の増となりました。

繰入金については、新型コロナウイルス対策の経費に充てるため新型コロナウイルス感染症対応基金の繰入などを行いました。

町債については、上三川インター南産業団地内の町道3-123号線などの道路整備事業や赤沢川の護岸整備事業などの財源とするために借入れを行いました。

特別会計の決算

特定の事業を行うために、一般会計とは区別して経理される特別会計の決算は下表のとおりです。決算の差引額については、それぞれ令和5年度へ繰り越しました。

会計	歳入 (前年度比)	歳出 (前年度比)	差引額
国民健康保険事業特別会計	29億1,996万円 (+2.0%)	28億7,897万円 (+3.1%)	4,099万円
介護保険事業特別会計	24億 839万円 (+1.5%)	21億9,043万円 (△1.3%)	2億1,796万
後期高齢者医療特別会計	3億 874万円 (+8.4%)	3億 512万円 (+8.0%)	362万
農業集落排水事業特別会計	3億3,369万円 (+3.6%)	3億1,803万円 (+1.7%)	1,566万円